

## 中学校家庭 専門問題例

例 1 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

- (1) 2002年からアレルギーを起こしやすい物質の加工品には、「特定原材料」の表示が義務化された。「卵，乳，小麦，落花生，えび，かに」以外に義務化された食品名を1つ書きなさい。
- (2) 液体の油に水素を添加し作った加工脂に含まれ，摂りすぎると動脈硬化の原因となり，心疾患のリスクが高まると指摘されている脂肪酸の名称を書きなさい。
- (3) ほうれん草に含まれるカルシウムの吸収を阻害する物質の名称を書きなさい。
- (4) 次のア～カのビタミンを性質により，水溶性，脂溶性に分類し，記号で答えなさい。

ア ビタミンA	イ ビタミンB <sub>1</sub>	ウ ビタミンD	エ ビタミンK
オ 葉酸	カ ナイアシン		

- (5) 鶏肉や飲料水が感染源となることが多く，腹痛や激しい下痢などの食中毒症状を起こす，近年増加傾向にある細菌を，次のア～オから選び，記号で答えなさい。

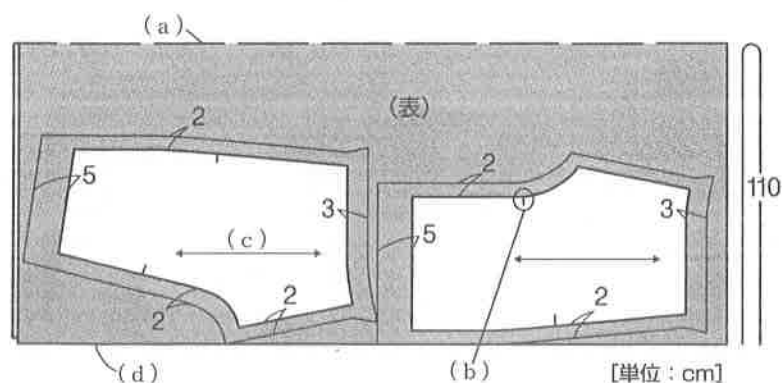
ア テトロドトキシン	イ ノロウイルス	ウ カンピロバクター
エ 黄色ブドウ球菌	オ ソラニン	

- (6) 都道府県から地域の特産品に認定された食品に付けられるマークを何というか書きなさい。

## 例 2

1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) フリース素材など，表面に毛羽がある衣服に火がつくと炎が一瞬で燃え広がる現象を何というか，書きなさい。
- (2) 衣服のリサイクルにおいて，衣料廃棄物を，化学処理などにより原料の状態に戻し，それを原料として新しい製品に作りかえることを何というか，書きなさい。
- (3) 国内の衣服の需要のうち，輸入によってまかなわれている割合のことを何というか，書きなさい。
- (4) アウターパンツの裁断としるしつけについて，(a)～(d)の名称あるいは製図記号の意味を書きなさい。



例 3 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

- (1) 2000年から始まり、介護の社会化が制度として形になったもので、40歳以上の国民が保険料を納めている制度を何というか、書きなさい。
- (2) 育児・介護休業法において、要介護状態の対象家族が2人以上であれば、年何日の介護休暇を取得できるか、書きなさい。
- (3) 2000年に世界保健機関が提唱した健康に関する指標で、日常的に介護を必要とせず、自立した生活ができる生存期間のことを何というか、書きなさい。
- (4) 弁護士などを通して債権者と話し合い、返済額や返済方法を決める多重債務の整理方法を何というか、書きなさい。
- (5) 商品購入に用いられる代金前払い、商品の後渡し決済方式のカードの総称を何というか、書きなさい。

例 4 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

- (1) 出生後3～4日すると、新生児の皮膚は黄色みを帯びてくる。このことを何というか書きなさい。
- (2) 乳幼児の骨は軟骨であるが、成長するにつれてカルシウムが沈着して硬い骨になる。このことを何というか書きなさい。
- (3) 新生児の頭がい骨にはすき間が2か所あるが、額の上部のすき間を何というか名称を書きなさい。また、すき間がある理由についても説明しなさい。
- (4) 子どもの権利と福祉に関する次の文の(a)～(d)にあてはまる語句を書きなさい。  
1951年5月5日に制定・宣言された(a)では、「児童は、(b)として尊ばれる。児童は、(c)として重んぜられる。児童は、(d)の中で育てられる。」という理念が示された。

例 5 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の(a)～(c)の下線部(ア)～(ウ)の内容が正しい場合は○をつけ、誤りがある場合は訂正しなさい。
  - (a) 環境基本法では、住宅地における昼間の騒音環境基準は、(ア)45dB(デシベル)以下である。
  - (b) 住生活基本計画によると、単身者世帯の最低居住面積水準は、(イ)25㎡である。
  - (c) 2004年の消防法改正により、新築・改築に着工する住宅は、原則として、寝室と(ウ)居間に火災報知機の設置が義務づけられた。
- (2) 安全な住まいを実現するために、住まいの性能を10分野の評価項目ごとに専門機関が点検して数値であらわす制度を何というか、書きなさい。
- (3) 近代住宅形式である「中廊下型住宅」の特徴について説明しなさい。

例 6 中学校学習指導要領「技術・家庭」の内容について、次の(a)～(j)にあてはまる語句を答えなさい。

第 2 各分野の目標及び内容〔家庭分野〕

2 内 容

B 食生活と自立

(3) 日常食の調理と地域の食文化について、次の事項を指導する。

ア (a)な日常食の調理ができること。また、(b)に留意し、食品や調理用具等の適切な(c)ができること。

イ (d)を生かすなどの調理を通して、地域の(e)について理解すること。

ウ 食生活に関心をもち、課題をもって日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について(f)し、計画を立てて実践できること。

第 3 指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(3) 各項目及び各項目に示す事項については、相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるよう適切な(g)を設定して計画を作成すること。その際、(h)における学習を踏まえ、他教科等との(i)を明確にして、(j)に指導ができるよう配慮すること。

中学校家庭 正答例（その１）

問題番号		正 答	
例 1	(1)	そば	
	(2)	トランス脂肪酸	
	(3)	シュウ酸	
	(4)	水溶性	イ オ カ
		脂溶性	ア ウ エ
	(5)	ウ	
	(6)	Eマーク	
例 2	(1)	表面フラッシュ現象	
	(2)	ケミカルリサイクル	
	(3)	輸入浸透度	
	(4)	(a) わ (b) 合い印 (c) たての布目 (d) 耳	
例 3	(1)	介護保険制度	
	(2)	10日	
	(3)	健康寿命	
	(4)	任意整理	
	(5)	プリペイドカード	

中学校家庭 正答例（その２）

問題番号		正 答			
例 4	(1)	生理的黄疸			
	(2)	化骨			
	(3)	(名称) 大泉門			
		(理由) (正答例) すき間を利用して，骨を重ねあわせ，頭を小さくして狭い産道を通るため。			
	(4)	(a)	児童憲章	(c)	社会の一員
		(b)	人	(d)	よい環境
例 5	(1)	(ア) ５５ (イ) ○ (ウ) 階段			
	(2)	住宅性能表示制度			
	(3)	(正答例) 部屋をとり抜けしなくても移動できる。			
例 6	(a)	基礎的			
	(b)	安全と衛生			
	(c)	管理			
	(d)	地域の食材			
	(e)	食文化			
	(f)	工夫			
	(g)	題材			
	(h)	小学校			
	(i)	関連			
	(j)	系統的・発展的			